

平面作品 カラフル版画アート

年組	番号	コメント
5年2組	1	僕は作品のイメージがよくつかめず、どういう感じで彫ればよいのかも分かりませんでした。彫ったり色を写したりする作業を続けていたら、自分が作りたいもののイメージを掴むことができました。次に課題となったのが、色の写し方や彫り進め方です。少しずつ丁寧に彫刻刀を使い分けたら変な写り方をしなくなったのでよかったです。この課題が解決した裏には、友達の力があります。自分の力だけではやっていけなかったのを助けてもらったときは本当に嬉しかったです。
5年2組	2	最初はどこを彫ればどのような色が付くのが分かりませんでした。友達に教えてもらったり、見せてもらったりしたら少しずつイメージが湧いてきました。作業のコツを掴むのに時間がかかり、その分作業も遅れたけれど、友達が手伝ってくれました。友達の力もあって、展覧会までに仕上げることができました。
5年2組	3	最初は写したらどうなるのか分からなくてあまり進められなかったですが、友達や先生にアドバイスをもらったことで、どんどん彫り進めることができました。僕は他の人と比べて進んでいなかったなので、授業以外の時間も作業しました。友達が手伝ってくれたこともありました。友達の協力やアドバイスなどのおかげで、さらによい版画ができました。乾かすときにも友達が一緒に手伝ってくれました。このような出来事のおかげで完成することができました。
5年2組	4	最初はどうすればよいのか分からないこともありましたが、友達や先生のアドバイスで、段々と楽しくなってきました。インクの色使いや、グラデーションを意識してインクを付けました。工夫したことは彫り方です。彫るところと彫らないところに丁寧に分けて彫りました。中々想像通りになりませんでした。でも、自信がなくなったときに友達が励ましてくれたことがとても嬉しかったです。
5年2組	5	最初はやり方がわからないこともありましたが、デザインも何となく決めたところから始めました。板に絵を書いて線からはみ出さないように削るのが大変でした。削るときに半分間違えて削ってしまったこともありましたが、色を作って薄い色から塗ったあと、洗って乾かして、また削るという作業を繰り返していくのが大変でした。最後まで削りきったときは達成感があって嬉しかったです。
5年2組	6	最初はやり方がよく分からなかったのですが、友だちに教えてもらいました。ですが、やってみるとすぐにやり方が分かってきたので自分で進めることができました。また、インクの色を綺麗に写すために、はじめは薄い色で綺麗に残したい色にし、だんだん濃い目の色にすることを工夫しました。
5年2組	7	最初はインクのやり方がよく分からなかったけれど、友達の作業をよく見て参考にしながらやったので、すごく綺麗にインクを紙に写すことができました。また、友達や先生が「綺麗だね」や「すごいね」と言ってくれたので、嬉しかったです。友達や先生がインクの色をどうするかと一緒に考えてくれたので、そのこともとても嬉しかったです。
5年2組	8	最初は、どのような版画にしようか迷っていたけれど、作業しているうちに少しずつ、イメージが湧いてくるようになってきました。また、かいた線を彫ることが難しかったです。
5年2組	9	最初は、どのように模様を付ければよいかが分かりませんでした。みんなだけ先に作業が進むので僕は心配になりました。でも、放課後に版画を進めたことでみんなに追いつくことができました。展覧会に間に合っただけです。
5年2組	10	僕は、網もよりの版画を作りました。工夫したところは、所々に市松模様や手裏剣型の模様を入れたところと、結構深いところまで彫らないといけなかったところとです。
5年2組	11	私は、最初イメージしていたものと最終的には全く異なってしまいました。それでいて、色(最初全く意識していなかったグラデーションなど)も変えていくので、当初と大きくイメージがそれてしまいました。しかし、それも彫り進み版画を進める上で大事なことだと思いました。作品を制作する過程でのイメージづくりは大切だと思います。私もその過程を経て完成させたので、その点も胸中に入れつつ鑑賞してほしいです。

5年2組	12	ぼくは猫が好きなので、版画で表したいと思って作りました。どんな色がでるのか色々試してみました。色は、思った通りの色になりませんでした。ですが、それはそれで良かったです。
5年2組	13	作り始めたときはほとんど題名などを意識することなくイメージを湧かせながら彫りました。彫っていた形が何かの遺跡みたいだったので、まだ見ぬ古代遺跡という題名にしました。また、自分が将来なりたいものが考古学者なので、この題名が合っていると思いました。色も適当に選んでいたのですが、片方は色が明るく周りを邪魔するものがないので上空遺跡というようにし、色が暗い方は深海にあるような色なので海底遺跡としました。最後は、この題名に合う色や形を意識して彫り進めました。また、自分の班の人の手伝いや、友達とのアドバイスのやり取りのおかげでより一層よい作品となりました。
5年2組	14	私は、あまり板を彫らずに完成させようとしていましたが、、それだと少しつまらないので、模様を入れたり、グラデーションに挑戦したりしました。版画を写しているときに少しずれてしまったけれどしまったけれど、友達や先生が「綺麗だね」と言ってくれたときがとても嬉しかったです。
5年2組	15	最初に版画を作ると先生から言われて、どうすればよいのか分からなくなることもありました。不安だったけれど、友達の作業を見ながら挑戦しているうちに、楽しくなりました。しかし、インクを写す時や、版画を彫り進める時などが大変でした。「もう終わりにしようかな」と思ったことがあったけれど、そこで止めずに彫り進み版画を作成し続けたからこそ、上手く仕上がったのだと思います。
5年2組	16	私の作品は、花のところがとても細かくて難しかったです。友達が応援してくれたり、一緒にアイデアを考えてくれたりしました。版画が綺麗に写せたときは、自分のことのように友達も喜んでくれました。友達のおかげで諦めずに最後までやりきる事ができました。とても楽しかったです。
5年2組	17	彫り進み版画では、彫刻刀の使い分け方や、どこをどのように彫ればよいのかよく分からないこともありましたが、先生に聞くなどして完成させることを頑張りました。特に、色の付け方でグラデーションを表現することに力を注ぎました。素敵な作品を作りたいと思って、たくさんの色を試したことで理想通りのとても良い作品を作ることができました。
5年2組	18	私の作品は、外国の作品のようになりました。自分でも、とても気に入っています。私の作品で大変だったところは、色です。色が中々決まりませんでした。特にどこをどう塗るとよいか、何と何の色を混ぜたらよいかなどが分かりませんでした。でも、よい色を作ることができ、納得のいく作品になりました。
5年2組	19	僕の彫り進み版画の作品は、細かく彫るところが多くて大変でした。他にもどのようにインクをつければよいか分からなかったり、何をすればよいか分からなかったり、せっかく掘ったのにインクを付けるときに失敗したらどうしようと不安でいっぱいでした。それでも、先生や友達が教えてくれて、上手く上げることができました。
5年2組	20	彫刻刀の使い分けが難しかったです。友達の作品を見たりして少しずつ彫刻刀の使い分けができるようになりました。できるだけ明るい色を使って明るい作品にしました。将来、明るい世の中になってほしいという思いも込めました。どこを彫れば色を残せるかを考えて、三好先生に確認しながら彫りました。将来、獣医になりたいという夢から馬や魚、蜘蛛の巣のような模様を入れました。2枚目は少し暗い色を使い、明るい色を多く使った紙を目立たせるようにしました。2回目以降の版画は友達にたくさん手伝ってもらいました。そのおかげで作品を綺麗に写すことができました。何度も写す作業は大変でしたが、終わったときには達成感を味わうことができました。友達の手伝いがなかったら、この作品はなかったと思います。
5年2組	21	初めて挑戦したときは、彫り進み版画の仕組みがあまりよく分かっていませんでした。学習しているうちに、色の仕組みのことや次にどこを彫ればよいかなどが分かってきて、だんだん楽しくなっていました。また、私はデザインを考えるとときに色の組み合わせをよく考えました。その時は、自分が入りたい色だけ入れていました。色の組み合わせの仕組みを理解してからは、自分が入りたい色の組み合わせをよく考えながら彫ったりインクを付けたりしました。さらに、インクを同じ紙に何回も印刷するときに、「白を入れたほうがよい」と言われたので、そうしてみました。色が薄くなり、綺麗な色になってよかったです。自分が想像していた色とは違うけれど、よい作品になってよ

		かったです。これからは図工でも他の教科でも自分の考えやアイデアを取り入れて学んでいきたいです。
5年2組	22	彫り進み版画をやってみて、最初はデザインが思い付かなくて手が止まっていることも多かったけれど、作業していくうちに手が止まることも少なくなりました。色も迷わずに決めることができました。時々、色が分かりにくく、ずれてしまうことがあったけれど、仕上げるのができてよかったです。
5年2組	23	彫り進み版画を初めてしたときにはあまりよく分かりませんでした。彫刻刀で何回も彫ったり色を写したりしていくことでだんだんと彫り進み版画のことが分かってきました。うまく色が写せなかったけれど、先生に言ったら「大丈夫だよ」と言ってくれて安心しました。次に図工で作品を作るときは、もっとみんなと協力して作品を作りたいと思いました。
5年2組	24	彫刻刀やペンキの色の組み合わせなどがあまり上手いきませんでした。だけど、友達や先生のアドバイスで作品のイメージが湧いてきて、自分でも納得できる作品を仕上げるのができました。今でも同じ班の友達や三好先生に感謝しています！次は、もっと色合いを工夫して、みんなに「すごいね」「素敵」などと言われるような作品を作りたいです。
5年2組	26	初めて印刷したときは版画がずれていました。うまくできなかったけれど、友達が「紙を最初にするとよい」と教えてくれて、それからはあまりずれなくなりました。イメージした通りにはいかなかったけれど、友達が教えてくれたのでよい作品になりました。共同作品作りでも友達と協力してよい作品を作ることができました。これからも友達と協力しながら、図工を頑張っていきたいです。
5年2組	27	最初はどのように彫れば、どこが写るのかなどを理解することが難しかったけれど、隣の席の友達などが助けてくれたので、だんだん慣れていきました。特に大変だったことは、細い直線の周りを一本一本丁寧に彫っていくことでした。予想以上に大変さで苦労しました。それでも、楽しかったですし、作品作りを成功させることができてよかったです。
5年2組	28	最初はどのように彫って、どこに色を付ければよいのか分かりませんでした。何度も再挑戦して、3回くらいでコツをつかみ、完成させることができました。色を付けるときに、友達が和紙を持って来てくれたり、版画の位置を教えてくれたりしました。とても嬉しかったです。自分の思った通りの色でなくても、楽しく制作することができました。
5年2組	29	彫るところがとても多くて大変でした。丸刀で彫ってみたらすぐに作業が終わったので、その時はとても驚きました。最初の印刷はうまくいったのですが、2回目、3回目は少しずれてしまいました。それでも、よい色で表すことができていたので、「よい作品になったなあ」と思いました。
5年2組	30	最初は、版画の仕方さえ分からなかったけれど、作業をしていくうちにどんどん分かるようになりました。どうしたらデザインしたものを綺麗に表現できるのかを考えることがとても難しかったです。
5年2組	31	僕の作品は白いところが多く、彫る作業に時間がかかりました。最初の頃は仕組みが理解できなくて混乱することもありました。分からないことは先生に聞いて、またトライしてみて、を繰り返していたら、だんだん作業の仕方が身に付いていきました。最初は遅れをとっていたけれど、友達と一緒に休み時間などに作業をしたことで、みんなと同じタイミングで仕上げるのができました。
5年2組	32	細かく彫るところがたくさんあって大変でした。色のイメージが湧かなかったので、どの場所を彫ればよいのか迷いました。友達や先生が教えてくれたおかげで分かるようになり、作品を仕上げるのができました。
5年2組	33	分からないことが多かったけれどクラスみんなや、先生が教えてくれました。色合いと、どこを何色にするか考えて彫ったりして大変でした。蛇に合う色合い、柄がちゃんと写ったので、よかったです。図工の時間中には仕上がりがありませんでしたが、諦めずに休み時間などに作業し、完成させました。
5年2組	34	1回目は色を決めるのが難しかったのですが、仕上がりが思った以上によく嬉しかったです。2回目はどんな色にするかよく考えてみることにしました。少し色が濃かったようで、失敗してしまったかなと思っていたら、3回目で色を明るくすることができました。うまくできて、嬉しかったです。

5年2組	35	最初は、どのように彫ればよかったのか、どうやって色を塗っていくのか、分からなかったけれど、作業を進めていくうちに慣れてきて、綺麗な色で表すことができました。苦労したことは、色の組み合わせ方です。想像とは違う色になることもあったけれど、最終的には自分に合う色が見付かりました。
5年2組	36	最初は、紙がずれたり向きが分かりにくかったりしたけれど、友達が向きを教えてくれて紙を押さえていてくれたので、うまく版画を写すことができました。写すときにどんな色にしようか何度も悩みました。1枚目は明るい色にして2枚目、3枚目からだんだん濃い色にしていきました。
5年2組	37	私が、彫り進み版画で気を付けたことは「綺麗に彫る」ということです。なぜなら、前に行ったときはあまり綺麗にできなかったからです。それはそれで良かったのですが、自分のなかでは納得できなかったのです。なので今回こそは綺麗にしたかったです。結果は、自分の中で納得できる作品ができました。とても嬉しかったです。少し失敗してしまったところもありましたが、友達がアドバイスをしてくれたり、励ましてくれたりしてくれたのでうまくいきました。諦めずに最後までやりきることができ、とても良い作品が仕上がりました。
5年2組	38	色を付ける場所をどうするかをよく考えて彫りました。2枚に重ねるときは、明るい色を作ることを心がけました。自分の思った色になるように、気を付けたので、思った通りの色で表すことができました。
5年2組	39	彫り進み版画をして大変だったことは、版画の作業です。紙に写すことを繰り返していくうちに、色が重なって思った通りの色が表せないことが大変でした。また、デザインを考えることも難しかったです。大変な作業が多かったけれど、完成したときは達成感がありました。
5年2組	40	2回目以降は写す向きを間違えないように慎重に作業しました。板を上から置く時、友達が協力してくれました。どこを彫ったらどこに色が付くのか分からなかったけれど、だんだん彫っていくうちに分かるようになっていきました。綺麗に彫ることができず、違う所まで彫ってしまうこともありましたが、友達がたくさん励ましの声をかけてくれたので最後まで諦めずに完成させることができました。
5年2組	41	私は、この作品で海に生息する生き物を表現しました。四角や円、楕円、正方形の形などを生かして表すことを頑張りました。難しいこともたくさんあったけれど、最後まで諦めずにがんばりました。
5年5組	1	紙を切るときに細かく好きなように工夫ができたので楽しかったです。版画を刷るときに、色々な色をかさねてつけるのが難しかったです。印刷を終えてからドライヤーで乾かすのは時間がかかって大変でした。
5年5組	2	何も無いところから絵をかいて木を削って...とやることがたくさんあって大変でした。黄色と緑色など、色を重ねて印刷するのが大変でした。思い通りの色を作るまでに時間がかかって大変でした。でも、最後に葉っぱのきれいな黄緑色ができて嬉しかったです。